

# ほけんだより 学校保健委員会のまとめ号

貝塚市立第一中学校  
保健室  
令和6年2月29日

2月15日(木)に学校保健委員会を開催しました。

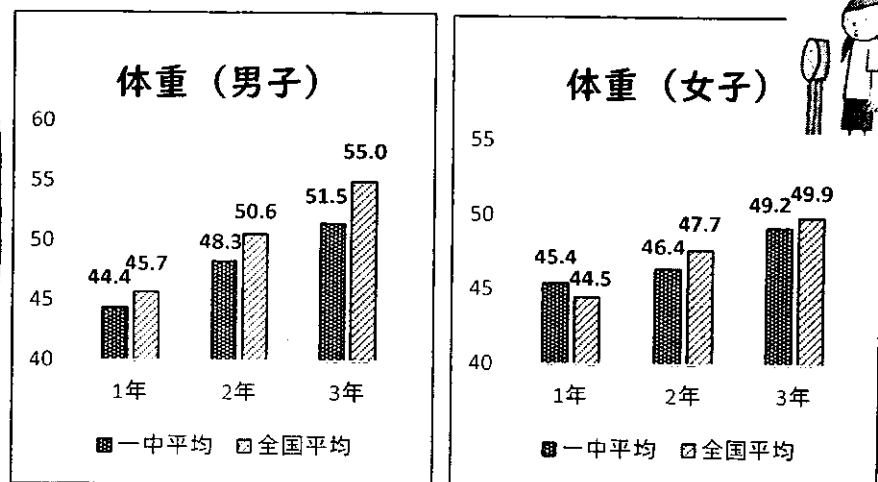
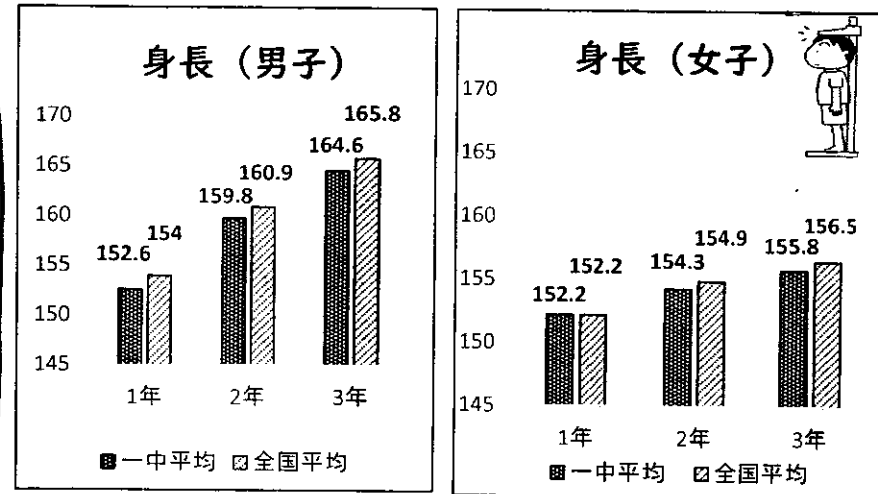
学校保健委員会とは…国から開催を求められている委員会です。

- ・学校における健康の問題を研究、協議し、健康づくりを推進します。
- ・委員会では、内科校医、歯科校医、学校薬剤師、耳鼻科校医、眼科校医の指導助言を受け、実践活動を推進していきます。

資料の一部を紹介しまる。

## 身体測定

★身体測定の結果 ※令和4年度の全国平均との比較



## 内科検診の結果

★内科検診の結果

受検者数	異常なし
688	670

心雑音	その他
16	2

心雑音には無害性のものが多かったですが、お知らせしています。  
男子は3学年とも身長、体重が全国平均より低かったです。

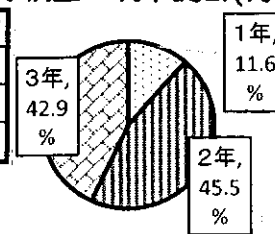
## 尿検査について…

腎臓の病気を早期に発見します。例えば「慢性腎炎」は初期には無症状で経過し、放置されると将来腎不全に移行したりします。若者の2型糖尿病の発見など、早期に発見し、適切な治療と管理を受け、重症化を予防するためにも、重要です。

★尿検査の1次の結果

	受検者	未提出者	有所見者
1年	226	13	22
2年	246	51	11
3年	255	48	17

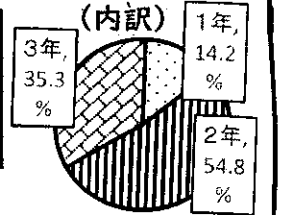
★尿検査1次未提出(内訳)



★尿検査の2次の結果

	受検者	未提出者	要受診者
1年	35	5	7
2年	62	34	7
3年	65	23	7

★尿検査2次未提出(内訳)



## 耳鼻科・聴力検査結果

★聴力検査結果

	受検者	有所見者
1年	222	8(3.6%)
3年	247	9(3.6%)

★運動器検診の結果※重複者あり

受検者数	異常なし	下肢	脊柱	腰	膝関節	肘・肩関節
688	621	15	29	7	15	1

運動器検診  
(内科検診中)

4月に配布している「運動器検診保健調査票」で、「はい」と記入した人で未受診の方は、その項目をあわせて、内科検診で診てもらっています。



脊柱は、左図のようなチェックを家庭で行ってもらい、項目があった人を中心に内科検診でも診てもらっています。肩甲骨の高さを診るため、スホウラはめくることがあります。

## 脊柱そくめん症の検査

## 2次レントゲン検査

モアレ検査結果(1次)

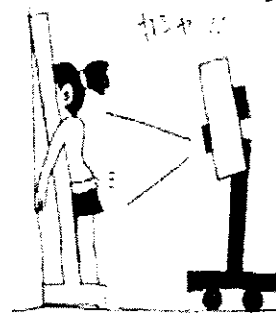
受験者	有所見者	
	要観察	要二次検査
216	0	17

エックス線で撮影する検査です。要観察は次年度も撮影します。要医療は病院(整形外科)受診をお伝えしています。

## 脊柱そくめん症とは…?

脊柱(背骨)がねじれを伴い、横に曲がる病気です。(姿勢は関係ないといわれています) 場合によっては、脊柱の化膿や曲がりか「極度」に強くふたりします(10~15歳にかけて発症が多いといわれています)。

背中から臀部にかけ3D赤外線センサー(人体には無害)で撮影する検査です。貝塚市では早期発見が大変重要であると位置づけられ、中1を全員対象としています。



★耳鼻科検診の結果 ※1年生のみ ※重複あり

受検者数	異常なし	アレルギー性鼻炎	耳垢栓塞	副鼻腔炎	鼻炎	アデノイド	鼻たけ	他
215	46	98	43	11	13	1	1	2

1次の未提出者は15.4%でした。その内訳が円グラフです。

2次の未提出者は全校生徒の8.5%でした。受検者の数が増えているのは、1次の提出忘れを含みます。

本校は、2次の日に忘れたい人は学校で尿を採取するよう声をかけています。正しい結果のためにも、早朝尿を提出するよう、ご協力をお願いいたします。

★視力検査の結果

	A	B	C	D
一中全体	310	133	165	61
(現3年)				
3年	101	52	67	28
2年時	112	62	58	18
1年時	124	40	63	32
(現2年)				
2年	91	38	45	25
1年時	120	45	64	17
1年	118	43	53	8

視力検査と眼科検診の結果

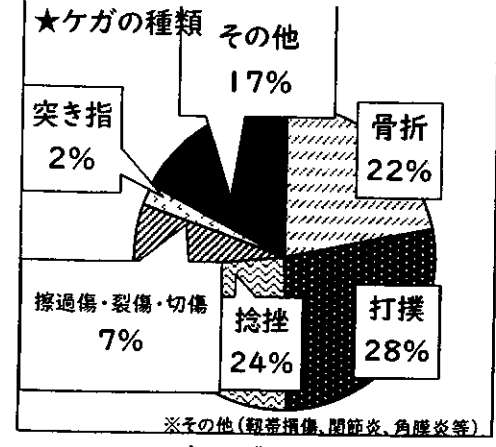
視力は、メガネ・コンタクトがある人は矯正視力でカウントしています。 *60*

★眼科検診の結果

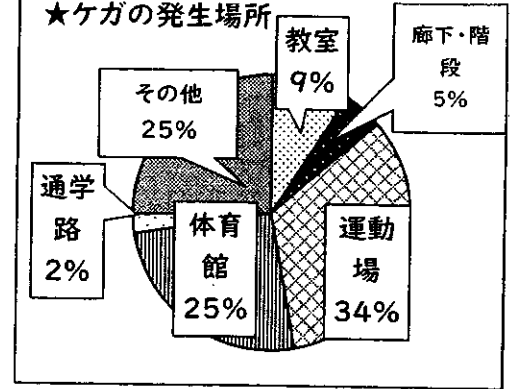
抽出者	異常なし	アレルギー性結膜炎	斜視
11	7	4	1

アンケートの抽出者数です。今年度は人数が少なかったです。

学校管理下のケガで病院を受診した結果

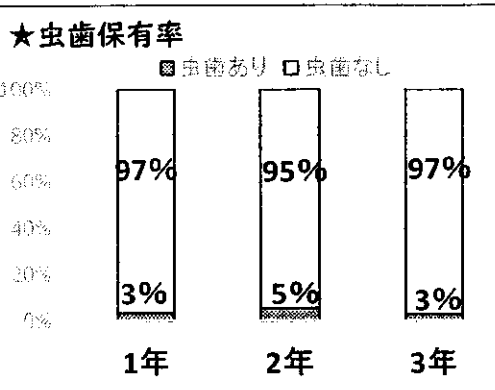


打撲、捻挫、骨折の順でした。



昨年度より教室の割合が減り、体育館の割合が増えました。

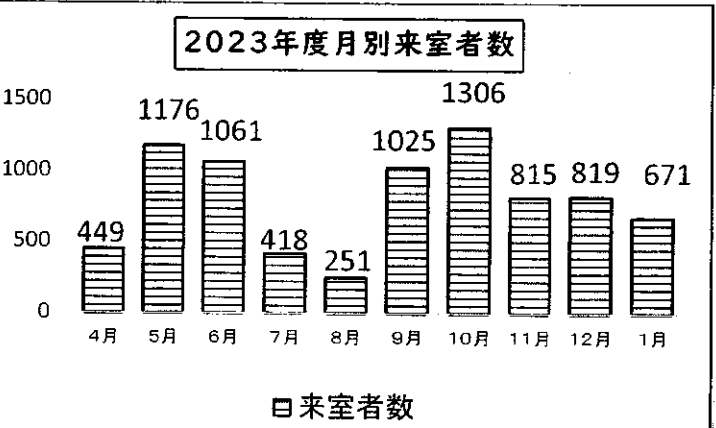
★歯科検診の結果



虫歯の保有率は、3年生は2年時より1%改善し、2年生は1年時より1%増加しました。(未治療の歯をカウントしています)

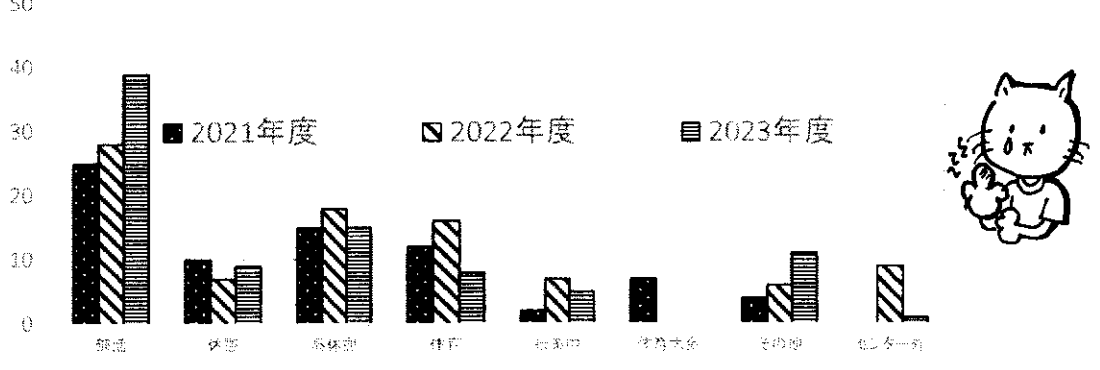


★保健室の来室状況

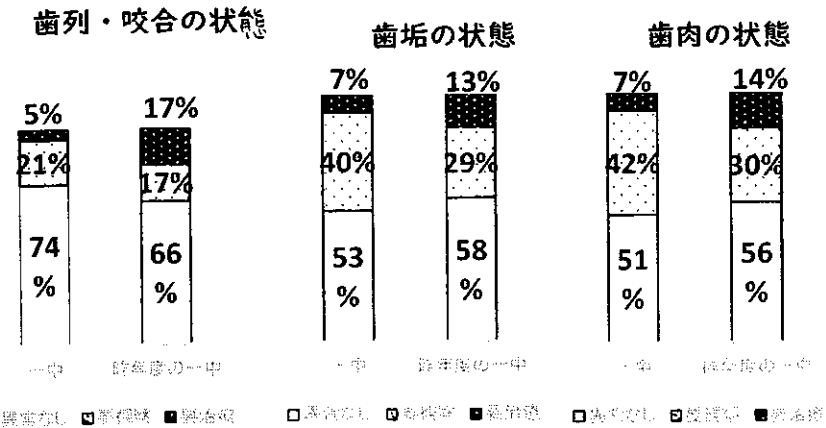


10月の来室が多かったです。体育大会と体育のハードルのケガが多かったです。

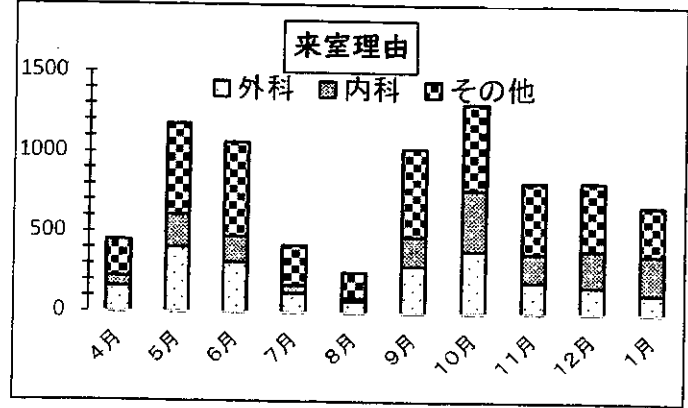
★学校管理下で受診したケガの発生校時割合



例年通り、部活動中のケガの割合が77%です。その他は中庭等です。センター外は、ケガ等でスポーツ振興センターを利用した割合です。



昨年度の一中より、要治療の数は減りました。要観察が増えていきます。歯垢や歯肉は歯みがきで改善することがあります。



今年度は、すべての月で来室理由が「その他」(気持ちの理由等)が多かったです。担任の先生や学年の先生と連携して対応しています。

学校薬剤師西出由利子先生のお話より 薬について  
もしも、不安な気持ちになったら...? お話し頂戴。  
「自分に自信が持てない」「人を信じられない」「本音が言えない」  
「コドク、さびしい」「見捨てられる不安がする」「自分なんてどうでもいい」  
自分の中にある、生きづらさを誰にも話せず抱えこんでいませんか?  
友だち、家の人、きょうだい、学校の先生、習い事の先生...顔をみながら話したければ、ラインの相談窓口もあります。(ピロティや保健室にQRコードあり)  
心の痛みを紛らわせるために、市販薬の乱用(一回の分量を越えた服薬)してしまう人がいますが、薬は容量を越えると、腎臓や肝臓に悪影響を及ぼしたり、場合によっては死に至ることもあります。特に小中学生が大人より飲む容量が少ないのは、体の発達にあわせて設定しているため、大人と同じように考えてはいけません。しんどくなる前に、誰かに話してみませんか?